

真室川町は全国で有数の原木なめこの産地。  
私も栽培しており、地域おこしにもつなげていきたいと考えている。【最上】

アケビの皮やヒヨウを食べるのは山形ならではの文化だと思う。  
県外から来た方が置賜地域の山菜のおいしさを知り、地元に戻って広めたという話があった。【置賜】

地元にいると感じづらいが、自然が豊かで、海の幸、山の幸、里の幸、美味しいものがいっぱいあることが山形県の魅力。  
県外に出たときに普段何気なく食べている山形県の米の美味しさに気づいた。【庄内】

## 山形の「食・農業①」

山形はラーメンが美味しいと有名になっているが、県外の方からは蕎麦も大変好評であり、蕎麦を食べて感激して帰っていかれたという経験がある。  
蕎麦を生産している者として大変嬉しく思う。ラーメンだけでなく、蕎麦も含めて麺全体をPRしていただきたい。【村山】

最上地域の魅力は、自然に恵まれ、水に恵まれ、美味しいものに恵まれていること。  
その中でもわらびは、自分にとって楽しく健康的に生きていくための生きがい。  
春の雪解けを待って出てくるわらびは無農薬で、アク抜きをして食卓に出すほか、冬の食卓用として塩漬けや干しわらび作りもしている。【最上】



農家をしてきて、その楽しさ・面白さが分かるため、農業を廃れさせたくない。

そのためにも、兼業農家や副業としての農業など、農業がもう少し身近でゆとりがあり、楽しみながらできればよい。

新庄・最上地域には、農林大学校・畜産試験場のほか、東北農林専門職大学があり、地域の産業と連携できていけたら面白いと思う。【最上】

鶴岡市の越沢集落で栽培されてきたそば(越沢三角そば)が平成28年に在来作物と認定されてから、そばを核とした地域活性化に取り組んできた。

集落内のそば店には、越沢三角そばを目当てに、県内外から多くの人々が訪れている。

地域の発展につながる魅力がいつどこに転がっているかわからないので、常に目を光らせ、それをどう活かしていくか地域全体で考えることが大切だと思う。【庄内】

## 山形の「食・農業②」

山形県には地域に根ざした在来作物がいっぱいある。

在来作物を栽培しているが、種や栽培方法を受け継ぎ、その魅力を伝えていくことが必要だと感じる。

同様に、伝統料理や行事食、伝統行事も私たちの代で途切れないように伝えていきたい。【庄内】

豊富な山形県産の農産物が魅力。その中でも、米沢牛のブランド価値は高く、全国に誇れるものとなっている。また、これらが育つ豊かな自然環境も魅力の一つであると思う。【置賜】



長い長い時間をかけて、山形市高瀬の住民と自然が作り上げてきた高瀬の里山風景、そしてこの里山風景に咲く紅花は日本一だと思っている。

後世に残していくため、(高瀬地区の紅花も含め)山形県の紅花文化を共有できる場所があれば良いと思う。【村山】

食文化を始め、豊かな文化を築く上で自然保全は欠かせないもの。

今以上に自然と食、歴史文化などを融合させ、山形県の自然の豊かさと多様性に光を当てて、それら全体の魅力を語り継ぐ必要があると思う。【庄内】

景観や自然素材にたっぷり触れ、心身を豊かにするのに格好な土地柄であるのが魅力。

全国に誇れる自然が身の周りにたくさんあるので、そこから一步踏み込んで、自然に触れたり体験する機会を増やすことが大切だと思う。【庄内】

## 山形の「自然」

自然環境の素晴らしさが魅力。  
新庄盆地は東西南北の四方全て鳥海山・月山・葉山・神室山に囲まれ、その山々は四季折々に私たちの暮らしにゆとりを与えてくれている。

山を見上げる度、勇壮な山々に力をもらって生活している。【最上】

山形県の魅力として、都会から新幹線で気軽に来ることができることだと思うので、日々の生活に疲れた方々に来てもらい、豊かな自然の中でリフレッシュして帰ってもらえるような場所であればいいと思う。【置賜】



山大工学部の学生との交流など、商店と地域のお客様が顔を合わせて交流できるような企画を積極的に行っている。

こうした取組みを通してお店を知ってもらうことで、濃い繋がりに結び付くと思う。

その地域にしかない魅力は必ずあるので、さらにブラッシュアップすることによって、それを目的にして来てくれる人が必ずいると思う。

【置賜】

空き家になった古民家を再生して、コンサートやマルシェ等、様々なイベントを実施している。

人がもっと集まれる場所にして、関係人口を増やして、生き生きとした町にしたいなど思っている。【村山】

遊佐町とハンガリーのソルノク市とは40年以上草の根交流が続いている。

「海あり、山あり、川あり」という山形県の魅力は自他ともに認めるところで、海のないハンガリーから来た方は西浜海水浴場で遊び、そこに裾野を引く鳥海山が美しいと感動する。【庄内】

山寺の観光については、観光協会と地域が協力してイベントの運営を行っているほか、観光地としてのグレードを上げていくために、街並み(色合いや形)を統一したり、電線の地中化を進める等の取組みを行っている。

こうした取組みを通じ、山寺を観光地として次代に残していきたい。【村山】

次代に語り継ぎたい置賜の魅力は、おいしい食べ物が多いこと、田園集落や水没林などの美しい風景があること、獅子舞などの昔から受け継がれてきた郷土芸能があることなどが挙げられる。【置賜】

尾花沢市は、誇れる魅力がたくさんある。その中でも、銀山温泉は、雪が多くて降り積もると数十メートルにもなる豪雪地帯だが、多くのインバウンド客が訪れる観光地となっている。

また、尾花沢スイカは私たち市民が全国に胸を張れるブランドである。こうした誇れる魅力を残していきたい。【村山】



## 山形の「観光」



青菜漬けにしても大根漬けにしても梅干しにしても手間もかかるし、春から雪解けとともにワラビが出て、タケノコが出て、生で食べた他は全部塩漬けにする等、1年間食べる準備をしなければならない。

大変な作業ではあるが、親や祖父母から受け継いできたものであり、受け継いで自分が作ったものを皆に食べてもらいたいし、昔の味を残したい、次の人に教えていかななくてはいけないという思いがある。【村山】

三世代参加の祭りとして、昔からの地域のお祭りは子どものためにも次代に残していきたいということで、若者からお年寄りまで頑張っている。【置賜】



## 山形の「文化①」

新庄・最上地域の先人が冬の厳しい時間を過ごした尊い時間に手仕事で作られた作品、受け継がれてきた伝承のものづくりは、代えがたいもの。

私も手仕事で作られた作品に感動し、草鞋作りなどのわら細工を学んでおり、少しでも伝承したものを伝えていきたいと考えている。【最上】

山寺の歴史文化について、現在、学校や地域が連携して地元の小中学生に伝える取組みがなされており、引き続き子ども達に語り継いでいきたい。【村山】

山形県には山形交響楽団をはじめ、全国レベルで活躍する高校の合唱部等、誇れる音楽があり、私が所属する遊佐混声合唱団もハンガリーの舞台で歌う経験をした。

食と農と文化(音楽)、この言葉の壁を越えてつながることができる経験を大切に、語り継いでいきたい。【庄内】



この土地で生きていくうえで、生きやすいように残されてきた時の蓄積、例えば、長い時間の中で語り継がれてきた生活の仕方、自然を見る目、感じ方・考え方といったものが、魅力だと思う。

先人たちは、雪に埋もれて、寒さと吹雪の中で、ときに冷害で飢えながら、それでもこの土地で生きてきた。

その生命や自然に対する見方やへこたれない精神が深い芯になって、生活の仕方・知恵として、この土地に暮らす人々の生活の隅々に生きている。【最上】

村山市の6次産業商品は魅力ある物がたくさんある。

特に蕎麦コーヒーは味も本当のコーヒーと変わらず、そのうえ蕎麦であることからカフェインが含まれていない等の付加価値もあり、大変素晴らしいと思っている。【村山】

昔語りの会に所属しているが、朝日町の昔話、朝日町、山形県の方言も文化として後世に伝えていけたらと思っている。

また、中学校の総合学習で朝日町の昔話や劇等を指導しており、そうした活動を通して、子ども達には朝日町が好きになって将来朝日町に帰ってきてもらいたい。

朝日町、山形県が好きな人に育ってくれたら良いなと思っている。【村山】



## 山形の「文化②」

湊町酒田は北前船の中継地として栄え、豊富な物資の集積地であったことから上方文化の影響を色濃く受け、今でもその名残が感じられる。飾り菓子もその1つであり、日本の古き良き伝統工芸の奥深さや職人の気概を感じとってほしい。

地域にはそれぞれの魅力があるが、それはその地域に連綿と受け継がれた自然環境や歴史によりもたらされたもの。子どもたちには、地域の魅力や名物の背景にまで目を向けて欲しいと思う。【庄内】



交通安全母の会の取組みの中で、交通事故の事故防止の啓発活動の他に、もう一つ大切なことが交通遺児への激励である。

いろいろな活動が縮小、消滅し始めている現状を見て、今までのやり方ができなくなるから解散するのではなく、違う方法を探して、工夫しながら次代に残していくことが必要だと思っている。【置賜】

酒田港に外航クルーズ船が寄航したときは、高校生が外国人を案内してまわり、進路選択にもつながる貴重な体験となったと聞いている。

子どもたちが広域で様々な体験ができ、自然にも触れ合えるのは、山形県ならではの魅力だと思う。【庄内】

## 山形の「暮らし・人①」

今から10年ほど前に、産直の女性会員で、田植後の育苗ハウスを有効活用したぶどう栽培グループを立ち上げた。

「これ以上のものは出せない」というほどに努力して、今では、ふるさと納税でも引っ張りだこ。女性の力はすごいと思う。

こんなに素晴らしい環境はないと思うので、女性がより良い生活が送れるようになり、若い人が喜んで移住できるような山形県になればいいと思う。【庄内】

山形県民の素晴らしいボランティア活動の継続を語り継ぎたい。

山形県民の持つ奉仕の心、使命感、優しさ、人間性は、厳しい自然環境と労働、この2つが混じる家族の営みから紡がれた産物であるのではないかなと思う。【村山】

新庄・最上地域の人たちは、厳しい自然の中で助け合いながら生きてきた。

この繋がりや絆、隣人への思いやりを次世代に残したい。【最上】



結束の強さ・人情の温かさ・繋がりへの深さは、他にはない自慢できるもの。

昔から地区全体でレクリエーション大会・反省会を行っているが、継続が難しくなった時に、今までのやり方にとらわれることなく、柔軟な対応で形を変えながら継続して、地区として交流を深めている。【最上】

庄内町の立谷沢地域では、子ども達に田んぼで泥んこ遊びをさせたり立谷沢地域の生活について伝えたりする「タチあべ」事業を始め、魅力あるまちづくりを進めるための取組を住民で話し合いながら進めている。

また、立谷沢地域は自然が豊かで、昔は盛んに山に入り、遊んだり、魚や果実を採ったりしていた。

そうした自然体験や住民同士のつながりの地域の温かさが、山形のいいところではないかと思う。【庄内】

## 山形の「暮らし・人②」

これまで、山形県内で様々なボランティア活動をしてきて、人ほどありがたい、素晴らしい資源はないと思っている。

これから先も人と人が仲良く手を取り合ってお互いに優しい気持ちを持ち、いたわり合いながら、生活できるような社会づくりに貢献していければと思う。【村山】

一番の魅力は、子どもたち。子どもたちが地域の大人から歴史や地域行事の準備の仕方などを教わることを通じて、子どもたちと地域社会とのつながりが生まれる。

すると、郷土愛が生まれ、地域に根差して、地域を引っ張ってくれる青年になってくれる。

子どもたちは、地域みんなで育てるということを将来に残したい。【最上】

